

# 早島町議会だより

平成26年5月1日  
第44号

発行 早島町議会  
〒701-0303 岡山県倉敷市早島町前湯 360-1  
TEL (086) 482-2608  
FAX (086) 482-4058  
編集 議会広報特別委員会



本園入園式



東分園入園式



入園おめでとう



## 主な内容

平成26年度当初予算	2～3P
総務厚生常任委員会	4P
建設文教常任委員会	5P
意見書・人事案件・振興計画審議会委員・表彰	6P
ここが聞きたい！一般質問	7～15P
新入生のお父さん、お母さんに聞きました・編集後記	16P

# 平成26年度早島町の一般会計予算 43億5,300万円

前年度比7.1%減でスタート

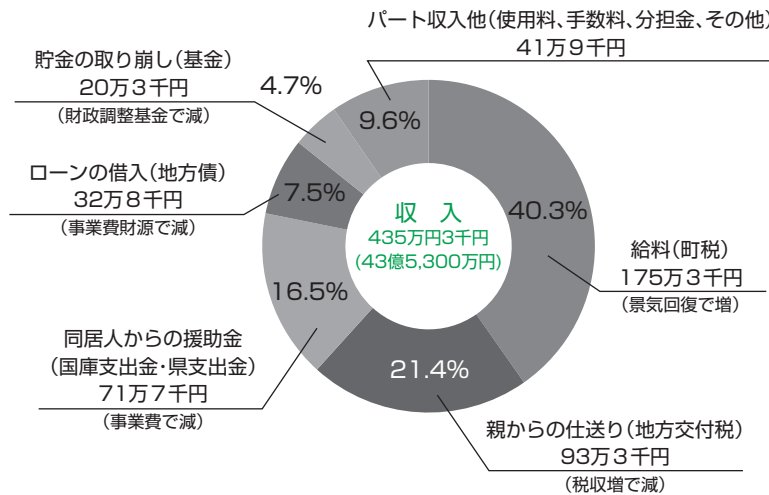
(一般家庭の家計に例えると・・・年収435万3千円)

平成26年度  
国の一般会計予算  
**95兆8,823億円**

平成26年度  
岡山県の一般会計予算  
**6,602億3,370万円**

平成26年度  
倉敷市の一般会計予算  
**1,728億4,600万円**

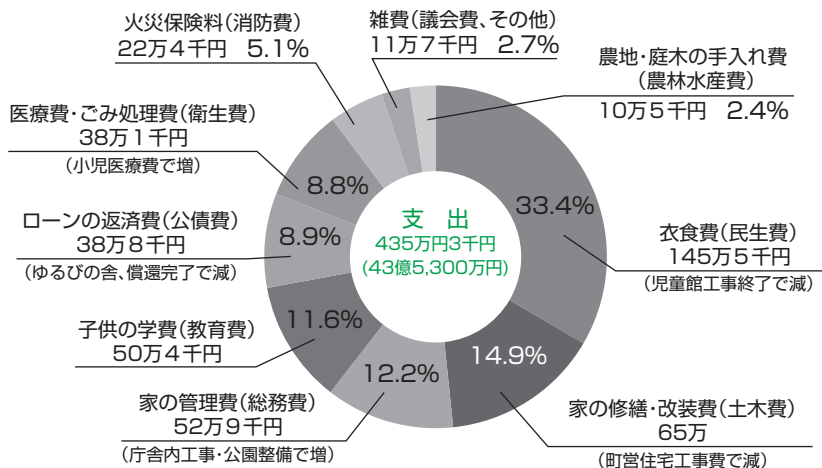
## 一般家庭に例えた収入予定



働いて入るお金(給料・パート収入他)  
**217万円**

仕送り・援助金・借金  
**218万円**

## 一般家庭に例えた支出予定



平成26年3月定例会は、3月6日から20日までの15日間の会期で開かれました。平成26年度当初予算、条例改正、各補正予算など、21議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。(今年度の一般会計予算の1億円を10万円に換算し、家計に例えました。)

# 平成26年度 予算総額78億9,710万円 早島丸が船出

(昨年度よりも1億7,600万円縮小予算)

## 議会が注目する主な事業

### 第4次総合計画 後期基本計画 策定について

早島インターチェンジ、町内にJR2駅をもつ立地条件を活かし抜本的な土地利用の見直し。

### 防災・減災対策について

防災無線の町内一円整備に向けた実施設計。  
ゲリラ豪雨に対処するための雨量調査及び対策の検討。

### 健康づくりの 推進について

ラジオ体操とウォーキングの普及等による運動習慣の確立。  
特定健診や後期高齢者集団検診の受診料無料化による受診率の向上。

後発医薬品の普及啓発。  
健康はつらつ早島21計画の策定。

### 教育施策について

早島町の歴史や文化を学び未来を考える「はやしま学」に基づく学校支援体制の構築。  
ゆるびの舎の各種機器や設備の更新による利便性の向上。  
いかしの舎の指定管理者制度の導入による効率的な運営。

### 福祉施策について

保育園、幼稚園の連絡に努め、子育て環境の充実を図る。  
1人暮らしの高齢者や、高齢者だけの世帯を地域全体で支える包括ケアシステムの構築。  
公共施設のバリアフリー化の整備。

**町長所信表明【抜粋】**  
岡山県の動きに呼応して企業立地推進と定住促進を基本施策に据える。今後予想される人口減少と高齢化の進展に対応して、常に安定した行政水準を保ちながら、誰もが安心して暮らせる「やさしい希望に満ちたまち早島」を実現すべく、私自身が先頭に立って渾身の努力をする。

## 会計別予算額一覧

(単位：万円、%)

区分	予算額	対前年度比	
一般会計	435,300	△7.1	
特別会計	国民健康保険特別会計	151,711	3.4
	介護保険会計（保険事業勘定）	105,065	6.2
	介護保険会計（介護サービス事業勘定）	973	△1.4
	後期高齢者医療会計	13,549	4.0
	公共下水道事業会計	58,350	3.0
	小計	329,648	4.2
水道事業会計	24,762	11.2	
合計	789,710	△2.2	

総務厚生常任委員会

総務厚生常任委員会に付託された平成25年度一般会計補正予算等7議案を原案どおり可決しました。

議案審議の主なもの

●早島町地域福祉センターの指定管理者の指定について

早島町地域福祉センターの管理を指定管理者に行わせるため議会の議決を経る必要がある。

Q 施設の修理等々いろいろな問題が出ていますが、管理者との連携はしっかりと出来ていますか？

A 定期的に連絡会議というところで事業所の運営も含めて毎月行っています。

●早島町児童館木造棟建替工事請負変更契約について

平成25年9月26日に議決された早島町児童館木造棟建替工事請負契約の一部を変更することについて議会の議決を経る必要がある。

Q 工期の遅れの理由が石垣と配管工事とのこと、もっと早く気付いたのでは？

A 隣りのお寺の工事や道路が狭い関係などで工事が重なったため、工期の変更となりました。

Q 工事の施工の進捗状況の管理は福祉課長がされていますか？

A 担当は福祉課ですが、建築なので管理会社に委託しています。最終責任は福祉課長です。

Q 工事が遅れ未完成のため子ども達の保護者の方に影響されると思いますが、それに対する対応は？

A 今、小学校の方と話をしています。

Q 工事の行程管理は副町長に責任がありますが、どの範囲で把握されかわられたのか？

A 工事案件についてかかりが遅い思いは痛切に反省しています。この遅れについては26年度改めて取り組みをし直す必要があります。



児童館建替工事

●モーターボート競走の施行について

住民福祉の諸施策に必要な財源確保のため、引き続きモーターボート競走を施行する。

Q 収入と支出がほぼ横ばいで提案理由の住民福祉向上のための財源確保になっていないと思うが町長のお考えは？

A 今の状況、若干売り上げも上向いておるので現状を変えるつもりはありません。

●一般会計補正予算について (総務厚生関係)

Q ふるさとづくり基金預金金利の77万7千円についての内容は何？

A ユーロ円債8億5千万円の中の一つでドイツ復興金融公庫債が今年度中に利子が復活していて、この状況でいきますと1億円が換金されて償還される状況になっています。

Q 今現在の状況については？

●早島町国民健康保険特別会計補正予算について

Q 予備費の2,339万5千円は一般会計からの繰入金未使用分と考えてよろしいか？

A 24年度からの繰越金で基金を全部取崩しておりますので、補正させていたいております。

Q 国保の昨年と今年の状況についてお尋ねします。

A 一番の問題が一般被保険者の療養給付費・療養費で、25年度1%前後の伸びの見込みですが、24年度の前年比8%の伸びの内容が高額医療費が集中したためでしたが、25年度はそのような状況にはないと思っています。

●早島町後期高齢者医療特別会計補正予算

原案どおり可決しました。

●早島町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算

原案どおり可決しました。



夏期巡回ラジオ体操

建設文教常任委員会

建設文教常任委員会に付託された早島町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例等、7議案を原案どおり可決しました。

議案審議の主なもの

●早島町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例について

Q 具体的にどう変わるのか？

A 学校管理規則の改定に伴うもので、預かり保育の変更はない。

●早島町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について

Q 詳しい説明を求め。

A 占用料とは土地の貸し付けに対する対価で、大半は企業が立てる電柱に対して掛り、個人の場合基本的に無償となる。

早島町は国の基準に準拠しており、施行令の一部が改正されて場所のランクが甲乙丙の丙地から5段階の1〜5級地に変更となり、2級地に変わった。これに伴い地価が1.3倍上昇したため、改正する。

Q 道路占用料の料金改正により金額はどの程度になるのか？

A 25年度実績ベースで約290万円。但し、緩和措置があり、初年度は1.2倍、2年後1.3倍となる。

●早島町いかしの舎の指定管理者の指定について

Q 年間委託料が安いのでは？

A 従来は管理人一人分に相当する額を計上し、喫茶、お土産の売り上げを合わせ、大体220万円ぐらいになり、その辺を踏まえて委託管理料100万円を策定した。なお、庭木剪定、光熱費は指定業者が持つことを原則に考えている。

●一般会計補正予算について  
(建設文教関係)

Q 農業振興費の農地集積協力金△150万円の内容は？

A 人・農地プランを定めた市町村において農地集積に協力するものに対して交付するもので、該当が無かったことによる。

Q 農地費の調査委託料50万円についてどういう調査を予定しているのか？

A 国の平成25年度補正事業でため池の耐震点検調査を実施するもので、尾越池、金才池、柚木谷池の3カ所を予定している。

Q 早島町商工団体等補助金△75万円の内容は？

A 商工会を中心にさくらまつり実行委員会を立ち上げたが、雨天のため中止になったことが主な要因。

Q 小学校、中学校費の就学奨励費補助がそれぞれ減額になってるが？

A 小学校で87人から81人、中学校で18人から15人に人数が減ったことによる。

また、新入学用品等の該当者の申し込みが少なかったことと医療券の該当者が少なかったことによる。

Q 土木費の調査測量設計等委託料1,000万円の内容は？

A 老朽化しているインフラの総点検で基本的には道路、橋梁、道路のり面の調査を予定している。具体的な場所として、二間川筋、金田口の交差点から半鐘台の辺り、流川筋、若宮からマスカット電気の裏を通り風林園の辺りを主に点検する。またのり面は流通団地、コレクティブタウンなどを考えている。

Q 土木費の工事請負費で防犯カメラ設置の説明があったが、どこに何基付けたのか？

A 早島駅前の東側駐輪場に3基設置し、その入札残が出たことによる。

Q 教育総務費の報償費、講師等の謝礼が35万円減額となっているが？

A 県の補助事業であこがれの人派遣事業として中学校に柔道家の古賀先生、小学校に早島町OBの林整骨院の先生と知り合いの方に講師をお願いし、小学校の講師料が15万円当初予算に対し減額補正となった。

陳情

・TPP交渉に関する陳情書

継続審査

・県道早島松島線沿い浦田・奥坂地区町有地売却および物流倉庫建設計画の中止を求める陳情書

継続審査

請願

・早島町内「岡山土地倉庫(株)物流倉庫建設」計画の中止を求める請願

継続審査

## 意見書

### ○道州制導入に断固反対する意見書を提出

町村議会は道州制の導入には一貫して反対しており、先の「町村議会議長会第56回全国大会」においては、「道州制の導入に断固反対する特別決議」を採択するなど、再三に亘り、政府・国会に対し強く申し入れてきました。しかしながら、与党においては、依然として「道州制推進基本法案」を提出し、道州制の導入を目指す姿勢に変わりがないことから、早島町議会では議員発議による「道州制導入に断固反対する意見書」を可決し関係機関に送付しました。

- 送付先**
- 内閣総理大臣
  - 内閣法第九条の第一順位指定大臣（副総理）
  - 内閣官房長官
  - 総務大臣・内閣府特命担当大臣（地方分権改革）・道州制担当大臣
  - 衆議院議長
  - 参議院議長

### 道州制とは

現在の都道府県制を見直し、全国を10前後のブロック（道州）に再編し、地方分権や国・地方を通じた効率的なシステムを構築しようとするもので、道州及び基礎自治体で構成される。

### 道州制の問題点について

**Q** 何のための道州制の導入なのか、誰のためのものなのか？

**A** 地方議会はもとより、国民の間にも道州制導入の切実な声も議論も起こっていない状況の下で、導入ありきの大前提に立った進め方は間違っている。

**Q** 現在、検討されている内容から推察すると、町村はどうなるのか。

**A** 「基礎自治体には都道府県と市町村両方の機能の全てをほぼフルセットで備えさせること」としており、町村は更なる規模拡大と組織体制の再編（合併）を強いられることになる。（道州制と町村議会に関する研究会より）

## 人事案件

### 教育委員会委員の任命

林 泰充 氏  
森 綾子 氏

2名を新たに教育委員会委員に任命することに同意しました。

### 振興計画審議会委員

町は第4次総合計画の後期基本計画及び実施計画を策定する準備を進めています。策定にあたっては条例に基づき審議会を設置することが定められており、議会からも次の4名が選出されました。町民の声を計画に反映させていきま

す。

総務厚生常任委員長 真鍋 和崇

同 副委員長 佐藤 政文

建設文教常任委員長 福田 健

同 副委員長 古田 敬司

同 副委員長 古田 敬司

同 副委員長 古田 敬司

同 副委員長 古田 敬司

## 町村議会議長会表彰

全国町村議会議長会並びに岡山県町村議会議長会から磯山卓宏議長と原光俊議員に表彰状が贈られました。

これは、町議会議員として15年以上在職し、地方自治の振興に尽くした功績が認められたもので、2月21日に開かれた岡山県議定会定期総会の席上で表彰されました。



原議員



磯山議長



船越 健一 議員

## 問 県下一高い介護保険料は来年度どうなるのか

**答** 現在は申し上げられない

**問** 介護保険料の見直しが来年度に迫っており、早島町ではどのくらいの金額になるのか。早島町では現在標準的な負担金額が5,900円となっており、当時県内で一番高いということでした。ちなみに全国平均月額一人当たり平均4,972円であります。15年度から17年度の保険料が来年の3月までに決められると思うが、いくらぐらいの金額になるのか。

**答 副町長** 早島町では介護保険の保険給付費が10億を突破し、認定患者数にいたっては700名近くになっています。65歳以上の1号被保険者が増え、若者2号被保険者が減っている状況の中で楽観はできませんが、前回の様に県下で第一位だということはないと思います。

**問** 5,900円より高い設定となるのか。

**答 福祉課長** 今年度締めくくってみなければわかりませんが、そんなに高くなるということは今段階では予想していません。

**問** 一般競争入札制度を取り入れる考えはないのか。

**答** 一般競争入札制度を取り入れる考えはない。

**問** 早島町は指名競争入札制度を導入しているが、指名競争入札とは信頼できる業者に仕事が任せられるという前提のもとにこの制度が成り立っているが、指名業者の総合評価は妥当なのか。今後早島町では一般競争入札制度を取り入れる考えはないのか。

**答 副町長** 地元事業者の保護育成を考え、地域経済に与える影響も多大であり、一般競争入札制度を導入する考えはない。今後入札制度については第三者の目から見て公正公平に行われていると思われるような制度のつくりを考えていきたいと思っている。

**問** 工事の工期が守られていないことに対してどのような改善を考えているのか。

**答 設計・施行・管理・工程を行う部署を新しく作る。**

**問** 去年一年を見ても保育園の工事にはじまり、小・中学校のクロー設置、中央公民館、南グラウンドのトイレと続いています。なぜこのように工事が遅れるのか。どこに問題があるのか。役所内部にあるのか。業者の選択に問題があるのか。業者にあるとすればペナルティを課す必要があると考えますが、いかがか。

**答 副町長** 予算化してから設計・指名・発注をして工事となりますが、一番最初のかかりが遅いのが原因の一つと考えている。予算執行ができる体制になったら、ただちに延滞なく26年度からの工事については徹底していく。

**問** 幼稚園の預かり保育、児童クラブの閉園時間を一時間延長することはできないのか。

**答** 子ども子育て会議で検討していく。

**問** 幼稚園の預かり保育の時間や児童クラブの時間を現在の午後6時から一時間延ばし午後7時まで延長はできないのか。

**答 福祉課長** 早島町子ども子育て会議の中で子育て支援に必要な対策として預かり保育や児童保育の時間延長については検討していく。

**問** 児童公園の充実が必要ではないのか。

**答** 実行できるところから速やかにやっていく。

**問** 母親と子どもが一緒に楽しめるちよつとしたスペースのある公園、母親の声や子どもたちの元気な声が響く公園、こんな公園が町のあちこちにある町づくりを考えてはいかがか。

**答 福祉課長** 児童公園は早島町に33か所あります。その中で遊具も何もない公園も入っています。鉄棒やブランコとか砂場がある公園もあります。また老朽化している公園もあります。以上の公園の点検も含めて今後より充実させていきたいと考えている。

**問** 高齢者福祉を積極的にに行っている自治会への支援が必要ではないか。

**答** 今後様々な支援をしていく。

**問** 介護予防の事業など様々な取り組みを行っている若宮自治会が喜楽亭という組織を立ち上げています。このような組織に対して支援体制を充実させてはいかがか。

**答 福祉課長** 介護予防事業など自治会などで積極的に取り組まれている地域に対して活動推進補助金などを支給していますが、十分とはいえず、今後は保健師や健康運動実践指導者の専門職の派遣も合わせて検討していきたい。



細田 貴道 議員

**問** 健康づくり推進には、より町民の視覚に訴える普及啓発が必要

**答** 一人一人が自覚できる様々なアイデアで健康寿命日本一を目指す

**問** 急速に進展する少子・高齢社会への適切な対応は早鳥町の財政運営にとって喫緊の課題である。少子化による生産年齢人口の減少と高齢化率の上昇は、確実に歳入の減少と、社会福祉費等の義務的経費の激増による歳出の増加をもたらし、町運営を圧迫する。

**答** 町財政は比較的安定しているとはいえ、あくまで「今」ということであり、今後何も対策を講じなければ持続可能な自治体運営は難しい。

歳入増の対策は、現在進行中の第4次総合計画後期計画策定に伴う都市計画マスタープラン見直しによる新たな土地利用計画により、定住促進や企業進出可能な受け皿作りが進むことを期待している。

一方、歳出削減には社会保障費等の抑制にも繋がる「健康づくり」対策以外にはない。

豊かな生活をしていく上で、健康であることは何よりも大切なことであり、行政をしてその普及啓

発に力点を置くことが必要である。

「健康づくり」元年というビジョンを打ち出し様々な施策が行われているが、その実績・成果と今後の展開を問う。

**答 町長** 講師を招いた健康づくり推進大会では400名以上の来場があった他、シンボルマークやキャッチコピーの募集、のぼり等の設置を行った。ゆるびの舎トレーニングルームは無料化、時間延長、インストラクターの設置により前年比約3倍の、延べ約9056名という利用増に繋がった。

ラジオ体操の普及や健康ウォーキング、食生活改善運動、各種検診の受診率向上に向けての様々な取り組みも行っている。

**問** 健康づくりは町民一人一人が自覚をもって行うことであり、そのためには既存の町施設、コミュニティバス、バス停等や各家庭に「より視覚に訴えられる」ような工夫や、あらゆる関係機関との連

携。各課の壁を越えた、融合したアイデア作りが必要であると思うがどうか。(具体的提案はスペースの関係で省略します)

**答 町長** 不老のみちに距離・歩数の表示を考えている。総合的に見地から、あらゆる施策を行うことにより、健康寿命を岡山県一、日本一にしていきたいと考えている。

**流通企業と行政の連携の必要性について**

**問** 町民税の内、法人からの税収はざっと計算して3割と、大きな比重を占めているにも関わらず、町と企業、特に流通企業との関わりが薄いと感ずる。ウインウインの関係であるために、町として何ができるのかを考える必要がある。例えば交通の便はどうなのか。

おそらくマイカー通勤されている方が主流であろう。もしJR早鳥駅や中庄駅とのアクセスが容易であればどの程度の利用者が見込まれるのか。町の動き次第で、民間交通機関が早鳥―中庄路線を開設するという可能性が全くないとはいえない。

町長の尽力により、JRとの交渉が進み、駅ホームのかさ上げによる乗降客の安全確保に関する協

議が進行中であるが、完全バリアフリー化に必要な1日あたり3000名の基準乗降客数をクリアするのは現段階では難しい。

流通企業関係者の方のJR早鳥駅利用によって乗降客数が増加すれば、念願の駅の完全バリアフリー化の実現を早めることができるとともに、町民にとっても中庄駅とのアクセスができることで、利便性が格段に向上する。

まずは、現在、流通企業にどのようなニーズがあるのか、アンケート等により行政側が把握するという作業が必要と思われるがどうか。

**答 町長** 現在、災害時に飲料や食料を調達する災害協定や障がい者雇用推進というものはあるが、それ以外のいい意味での企業との連携は希薄であったと感じる。企業側のニーズを知ることが今後重要であると思う。

「**学校給食の県内産食材の使用割合70・8%で早鳥町が県内トップ**」に關しての質疑応答はスペースの関係で省略します。

詳しくは町ホームページの議会議録やライヴ録画もしくは議事録でご確認ください。





原 光俊 議員

**問** 大池地区の環境保全と企業誘致についてどのように進めていくのか  
**答** 自然との調和を図りながら考えていくが業者からは具体的な説明は何も聞いていない

**問** 早島町は県下で最も人口密度の高い町だ。狭い土地に次々と開発が進みながらも、現在の美しい静かな町並みの早島町が誕生した。その一方で、山は切り開かれ、美しい野山は影をひそめ、心和む水路は道路拡幅のため狭くなったり、暗渠となつて、その姿を消したところもある。早島小学校の校歌の中には「緑の丘を背において、児島の海を望みたる・・・」とあるように、子どもたちは素晴らしい環境の中で育まれてきた。我々は先人に感謝し、子や孫にこの美しい自然を引き継いでいく責任がある。今回、開発されようとしている大池地区は、備南台、中山団地、ニュー早島と大池という閑静な住宅地に囲まれた人口密集地帯だ。子どもたちが毎日通う通学区域でもあり、特に、住宅区域と企業団地との間にある緑の緩衝地帯には国や県指定の絶滅危惧種の山野草が数種自生しており、珍しい昆虫やどじょう、えび、鮒といった

水生動物も見受けられる。小学唱歌の「春の小川」の一番に「春の小川はさらさら行くよ、岸のみれやれんげの花に、すがた優しく色美しく、咲けよ、咲けよと囁きながら」「春の小川はさらさら行くよ、えびやめだかや小鮒の群れに、今日も一日ひなたで泳ぎ、遊べ、遊べと囁きながら」・・・何とどのどかな風景だろう。地上の生物、命あるすべてのものに対する優しい心遣いが歌詞の中に読み取れる。人里近いこの地区に残された、まさに早島町として保全すべき貴重な里山だ。この里山は我々町民みんなの財産だ。そして、子どもたちの元気な声が聞こえる、ふるさと早島の自然を、我々の時代に、我々の手で破壊させてはならない。

**町長**は昨年12月議会で「緑の保全については心している、さまざまの施策については当然その精神を失わないように進めていきたい」と自らの思いを述べられている。



ユーチューブより転載

る。どうか町長の英断を持って、この貴重な自然を守り、後世に残していただきたい。町長のお考えを聞かせていただきたい。

**答 町長** 大池地区の開発については、ただいま現在、開発不可のエリアだ。何も出てない中で、なぜ、このような話がひとり歩きして、いろいろと取りざたされなければならぬのか理解に苦しむ。ただ、今後、早島町のそういった開発に対する考え方は、と問われれば、それは当然の事として、自然との調和を図りながら進めていくが、具体的な計画も出ていない段階でこのような議論になること自体、私は不自然だと思っている。

**問** 町長の言われた基本的な考えは、早島町の「まちづくり憲章」にある自然豊かな環境保全と合致していると思うが、業者サイドは県の法的な条件が整えば事業を進めていきたいという話であった。それが現実になった時、町長はこの町有の緑地をどうされるのか。

**答 町長** 開発の申請書が出されたらいろいろ進めていく必要がある。ただし、私がいくら偉くても私には許可する権限はない、県知事が許可するものだ。

**問** 県の許可が出たらどうするか。

**答 町長** 再三申し上げるように、出てきた時はいろんな角度から検討するが、何も出てきていない今、そういう議論をする余地はない。その辺のことが分っていただけなのは残念な話だ。

**問** 質問していることと答弁されていることが食い違っていて残念だが、都市計画の専門家でもあり経験豊富な町長に期待している中で、町民の声を聞きながら、住民に優しく生活優先の素晴らしい早島町をつくっていただきたい。



古田 敬司 議員

**問** 生活道路の安全確保を問う

**答** 地元の意見・要望を聞き、交通安全対策事業を進める

**問** 町長が所信で日々の暮らしを支える道路は安全・安心して行き来出来なければならぬ。町民の皆さんが普段の生活の中で安心して通行できるよう日常生活に密着した道路、側溝通学路など地域の環境整備にも重点的に取り組んでいくと述べられ、来年度予算も道路維持補修、新設改良事業に約1億5千万円が計上されている。近年、町内の生活道路は朝夕車両の通行量が非常に多く倍増しているように見受けられるが、当局は現状をどのように受け止めているのか。

**答** 町長 町全体をチェックしながら優先順位を定め、計画的に整備を行っていく。  
**答** 建設課長 安心歩行エリア事業も19年度から5ヶ年で一応完了したが、引き続き全町域において地元の見解・要望をもとに通学路や生活道路に重点を置き交通安全対策事業を進めていく。また、平成24、25年度には通学路の緊急合

同点検を実施し、対策工事を行っている。平成26年度以降、新たに交通安全対策が必要な箇所を抽出し、3年から5ヶ年の整備計画を策定し実施していく。現在事業に着手している県道松島線が4車線化になれば、県道の方がスムーズに流れ、中山団地方面への通行車両が大幅に減少することを期待している。また中山団地外周の速度規制については公安委員会が調整を行っている。

**問** 昨年質問で質した、町内の交通マップの作成、個別配布の件についてどのような検討を行ったのか。  
**答** 建設課長 交通事故は毎年状況が変わっており、25年度については広報紙の8月号で24年



中山団地入口町道

度中の人身事故を中心とした交通事故の発生状況を2ページにわたり掲載した。これで十分とは思っていないが、26年度はさらにわかり易いものにしていく。

**健康づくり運動の継続について**

**問** 昨年、夏期巡回ラジオ体操をはじめ、健康づくり元年として取り組み、健康づくり推進運動が展開されているが、町民がこぞって参加し健康寿命が伸びれば、介護予防など保険財政も健全に推移すると思われる。今後も諸施策を行政主導で強力に推進していただきたい。昨年、健康づくりの一環でマイウオーキングコースの募集が行われたが、ふれあいの森公園、早島公園について行政提案でモデルコースに認定してはどうか。特にふれあいの森公園は定期的に整備がされており、健康づくりの森としてウォーキングには最適な環境と言える。散策道の外周は東西それぞれ1.5kmあり、四季折々の景観が楽しめる。町長も所信で将来的な整備計画も含め、検討したいと述べられていたが、町長の思い描く、ありたい姿を尋ねる。

**答** 町長 私も再三あの公園を歩いている。ただ単に歩くのではない



ふれあいの森 遊歩道

く、あそこは保安林で多くの木々が茂っている。そうしたことから歩きながら学習できるそういう散策のコースにしたらどうかと思っ

ている。また千本の桜が植樹され、桜が大きくなれば、城山とは別の趣で花見ができる状況になる。今後、いろいろ施策を計画し考えていきたい。  
**答** 環境産業課長 町を挙げて健康づくりを推進し、継続していくため、生涯学習課を中心に検討していく。また、健康の森としてふれあいの森公園は健康づくりだけでなく自然を生かした、より町民に親しまれ、利用しやすい安全な公園になるよう整備計画も含め、検討していきたい。



眞鍋 和 崇 議員

**問** 第2流通南部の民間開発について事実でない説明を行う業者に厳格な対処を

**答** 厳重に抗議を行った

民にも説明し、法に基づき進める。

**第2流通南部緑地保全について**

**問** 岡山県総合流通センター拡大地区（以下 第二流通）の南部での民間開発を、12月議会で町長は「町は一切開発に関知していない」と答弁し、業者に対して「抗議を行った」と答弁された。

しかし2月22日に関係企業3社による説明会で業者は町民に対し「町長とは2年間で200時間会談し、合意している」「抗議などを受けた覚えはない」と答えた。周辺住民は「地域住民の要望を伝える間もなく、町が合意したのか」と大きな懸念を持つ。業者の行動は、行政に対し大きく町民の信頼を失わせかねない問題だ。ぜひ厳格な対処を。

**答 町長** 一方的に業者が説明を行ったこと。副町長、担当課長、職員同席のもと、厳しく抗議した。用地買収には町議会の議決が必要であり、許可者は県知事である。軽々にOKとは言えない。許可申請が出れば、逐一チェックして迷惑がかからぬよう協議し、地域住

**問** 12月議会です町有緑地の保全方針は「県自然保護条例に基づき30%を確保」と答弁された。同条例の自然保護基準には「開発に際して30%の緑地確保」が定められ、その後20%に引き下げられている。町長の見解は。

**答 町長** 30%は変わらない。

**問** 同条例11条には「希少野生生物の確保」と「体系的保全」が規定されている。同地域には絶滅危惧2類に分類される野草が生息すると聞く。このことを知る住民から「環境産業課に伝えた」と聞いた。町環境産業課ほどの程度把握していたのか。

**答 環境産業課長** 私の耳には入っていない。

**問** この植物が生息しているならば、実態調査を行い、法令に基づき施策を実行すべきではないか。

**答 町長** 質問があったことを認識しておく。

**障がい者に暖かい行政を**

**問** 在宅でケアプランを作成していない障がい者に対しどう繋がり、サービス利用促進を行うか。

**答 町長** 次年度、障害者福祉計画の見直しを行う予定であり、関係者の意見を聞き、利用促進を図る。

**問** 早島で活動する施設、人、団体を一つの輪で結び、相互連絡、連携をとる組織、障害者自立支援協議会を、町主導で設立を検討してはどうか。

**答 福祉課長** 障がい者や関係機関の連携は重要と認識。町内で連携推進するため、関係者が集まる場を検討する。

**中学校への支援員の配置について**

**問** 小学校では支援学級とともにことばの教室を設置し、発音の療育だけでなく「うまく自分の気持ち表現できない」等、心に深い悩みを抱えた児童の大切な居場所にもなっている。

中学校には言葉の教室がなく、不安を抱える児童もいるそうだ。そういった支援の要する生徒に

対し、どう対応するか。

**答 教育長** 児童・生徒の実態把握を行い、指導方法についてすべての教職員が理解する。福祉課で配置された発達支援コーディネーターに各園学校に頻繁に足を運んでもらっている。

**問** 支援員を配置すべきではないか。「すべての子どもたち一人ひとりの学ぶ権利を保障します。」という学校教育ビジョンをぜひ実現していただきたい。

**答** 現状での対応は可能。教員の専門知識の研修を行っている。



学校教育ビジョンシンポジウム

**その他**

・県「学力向上」「いじめ対策」教育奨励金は辞退すべき  
・全国一斉学力調査に参加を  
について質問しました。



佐藤 政文 議員

**問** 早島町の防災連絡体制と早期連絡方法について

**答** 町内数か所にスピーカー設置と防災無線のデジタル化の整備

**問** 現在防災連絡体制については、各地域の自主防災代表もしくは自治会長に電話により連絡をしています。電話が万二不通になった場合の連絡はどうなっているのでしょうか？ 平成26年度の予算で設計委託料が2,630万円計上され、早期連絡対策と考えられますが、詳細な内容を教えてください。また、町消防団への町からのさらなる支援をお願いしたいと思えます。非常時に頼りにするのは、町を守る強い意志をもった早島町消防団だと思います。町内には消防団OBの方も多くいます。指揮命令系統さえしっかりしていれば、早期減災にOBの方の力もお借りできるのではないのでしょうか？ それらの指揮系統充実のための予算計上もお願いいたします。それらの事柄を迅速に進めていってほしいと思います。非常事態の対応にこれでもいいというのではないと考えますし、早急な対応こそ命です。防災無線

利用及びスピーカー設置については平成27年度末をめどにとされていますが、ゲリラ豪雨等の災害は6月からの梅雨、そして、台風シーズンの夏の時期に多く起こります。スピードを持って取り組むべきではないでしょうか？ 岡山は災害の少ない県ですが、遅きに失したとならないように、町の早期対応を期待しております。



早島町消防機庫

**答** 町長 早島をはじめ世の中全体に危機管理意識が薄いようだと、さらなる啓蒙をする。町内で現在の防災無線では届かないところがある。各自自治体との連絡がスムーズに伝わるように、デジタル化する。災害時の連絡強化をし、町内に一斉に連絡する手段を早急に作る必要がある。避難所や公民館にスピーカーを設置して速やかに災害を伝えるために、26年度に予算計上している。災害時の被害を最小限に抑えるためにも一日も早く完成を目指して、事業を進める。

**問** 町内の危険箇所改善についての質問と要望です。

役場から南北に横断する二間川は、朝夕、幼稚園本園の送迎に多くの方が横断しています。親と一緒に幼稚園に歩いて登下園している様子をよく見かけます。ところが、周辺道路には、現在、危険箇所と表示するものもなく、交差点にあるカーブミラーは、冬には曇って見えない状態となり、近所の方が水をかけてミラーの曇りを取っている状況が見られます。幼稚園児は、保護者と一緒と言って大変危険な状態です。また、早島の南部の道に関して



二間川筋

は、東西の道は町筋と二間川筋があります。二間川筋は直線である程度の道幅があり、車は走りやすいし、人も歩きやすくなっていますが、南北に小さな道が交差するところが非常に多く、車にとっても、歩行者にとっても危険箇所が多数あると思われます。これらの事柄に町として、どのような対応が可能かをご回答ください。また、迅速な改善を要望いたします。

**答** 町長 歩道の確保やハード整備、横断歩道の設置などが重要である。二間川筋は30キロの速度規制がある。横断歩道の新たな設置は難しい。ドライバーへの注意喚起をしていく。関係機関と連携を取りながら、歩行者の安全を図る。交通マナーの向上が大切です。



福田 健 議員

**問** 町長は2月28日の朝日新聞の記事にどう対応するのか

**答** 私が抗議文を出したか否かという問題ではない

問 2月28日、朝日新聞に掲載された「岡山土地倉庫(株)の物流倉庫の建設」に関する記事について質問します。この開発問題について町長から議会に対し公式表明の無いなかで、この問題を取り上げ質問することに対し、私自身多少の迷いもありました。しかし、議会基本条例には次のように示されている。「住民が自治体の長及び議員を直接選挙するという二元代表制のもと、町民の代表として選ばれている議員と町長は、それぞれ町民の負託にこたえる責務を負っている。また、議会は町長等とは緊張感ある関係を保ち、独立・対等の立場において政策決定並びに町長等の事務の執行について、監視及び評価を行うとともに、政策立案及び政策提言を行わなければならない。」このことから議員としてはつきり確認していくべきと考え質問します。

答 2月22日、山陽文化会館に於いて、業者による住民説明会が開かれ、町職員2名、私を含む議員5名が出席しました。その後、2月27日の全員協議会の席で私から「業者による説明会の内容を踏まえて、町長はこのまま放置されるのか」と質問したところ町長は「文書で業者に抗議します」と明確に答弁された。その翌日、朝日新聞の記事が載りました。その後町長が文書で抗議された形跡がないので、3月7日に議員3人で、町長室を訪れ、再度文書での抗議をしていただきたいとお願いをいたしました。その席で町長は、「すればいいんでしょ」という言葉で意思表示をされた。

問 町長は早島町の代表者です、業者がいい加減なことを言っているのであれば、毅然と対応して、やはり文書で抗議してほしい。町としての権威をまもるため、町長には今一度行動を起こしていただきたい。昨日の同僚議員の質問に対し、一部聞き漏らしたが、泥仕合になるとか、文書で抗議しないほうがいいというふうな発言があったが、私は論外と思う。

答 町長 私は政治信条として行政を、あるいは町政を私してはならないという信条で、今日まで勤めてきた。今日の事柄はあくまでも業者サイドでいろいろやられたことであつて私がないをしたというのでしようか。私はこういう話があつたときに、今後はただいま現在でも、あの開発エリアが許可されてないんですよ。そういうなかでいろんな条件が変わつてきて開発ができる、開発行為を出してくるということになれば、それはそこから種々検討するところであつて、まだなにもないところでもつて空中戦みたいなもんです。

問 J-R早島駅のプラットホームの段差の解消だけでなく、屋根やエレベーターも同時に設置してはどうか。駅の改修費用は現役世代がすべて負担するのではなく、次世代に借金を残しても良いのではないか。この問題は多くの皆様の関心事であり、3,000人の乗降客の見込みの有無、経費、財政見込みを示し、住民に大きく問かけて判断すべきと考える。

答 町長 現在の早島駅の乗降客は2,000人です。3,000人を超える都市計画をつくり、これを具体化すれば、J-Rが話にのつてくれると思う。現状では設置費用だけでなく維持管理費まですべて町が負担することになる。そんなことはできない。平成26年度でのプラットホームのかさ上げについてJ-Rにお願いをしている。町の応分の負担が必要であり、経費が決まればその時点で予算措置をする。

**その他の質問事項**

- ・ 防犯カメラの設置について
- ・ ふるさと納税制度について
- ・ コミュニティハウスの外部への管理委託について



小池 宏治 議員

**問** 行財政改革の成果が表れてないが、抜本的な改革は？

**答** 財源がないので、最小の経費で最大の効果を上げる

**問** 財政運営について、景気回復で税収は増収ですが、基金が減少し経常収支も一昨年が92.3%、昨年の94.5%、今年の推測が93%と弾力がない状態は事実です。人口も4年連続で人口減少が続いています。町長就任以後の行財政改革の成果が表れてないが、これから抜本的な改革をどのようにされていくのか。

**答 町長** 基金を取り崩しての予算編成は例年どおりで、財源がないので最小の経費で最大の効果を上げるため、優先順位を決めながら的確・着実な財政運営をしていかなければならない。

**問** 就任当初インフラ整備は終わっているとのことでしたが、ここ数年の社会保障費等の増加を考えると、関連する福祉施設や体育館が必要だと思う。県内の自治体で町民体育館がないのが里庄・新庄村と当町だけです。財政的に恵まれている本町にないのが不思議です。取り組んでいくお考えは。

**答 町長** 全体としてはインフラ整備は終わっていると認識している。体育館があればと思うが早島の財政状況の中で取り組める状態かどうかお考え頂きたい。

**問** テルサ覚書の白紙撤回のとき町民の信任を得たと言われた。早島の将来展望か目先の財政かで町長は財政的なことでやめたと思うが、町懸案の南北格差の解消策で北の核となる施設を基本計画で考えて頂きたいと思うが如何か。

**答 町長** 国道から北の土地利用計画を考える必要があるが、拠点施設をつくることにはならない。

**問** 町長は公約で税金の使い方を改めますとのことでしたが、どのように改められたのか。

**答 町長** 町民皆様の貴重な税金です。優先順位を決めて無駄を減らした税金の使い方との意味です。

**問** 税金の使い方を改めるということは、前の首長さんが間違っていた使用方をされているととられかねない。そうではないんですか。

**答 町長** 前の使い方がどうだったか申し上げる立場にない。私は考えた上での税金の使い方です。

**問** 第4次総合計画の見直しが審議委員も決まりやっと動き始めましたが、私は町長が行政のトップとして大変スピード感に欠けているような感じがします。昨年県のトップに就任の伊原木知事一年目教育再生と産業振興を重点施策、二年目は前知事の夢プランの基本枠を維持しつつ、自身の公約の現実化を図りながら基本理念として、顧客重視・コスト意識・スピード感を上げられた。町長のスピード感、今年が3年目での取り組みは大変遅いように思うが如何か。

**答 町長** 私はスピード感を念頭に仕事を進めていると認識している。

**コンパクト・エココンパクトシティ構想について**

**問** 総合計画の見直しの中に、現在人口減少傾向や益々増加している高齢者の人達のことや環境宣言のまち等々を考えて、公共交通を軸にした歩いて暮せるコンパクトなまちづくり構想は国交省の施策です。ハードルが高いと思うが取

り組んでみてはどうか。

**答 町長** 結論はコンパクトシティに取り組む町ではございません。

**保幼小中の一貫教育について**

**問** 学校教育ビジョンが策定されました。昭和60年をピークに全国的に体力・運動能力が低迷している、運動する子としない子の二極化が進んでいるそうです。特に幼児期の運動不足に問題があるように、多くの友達と活発に遊ぶ幼児程運動能力が高いそうです。20年は東京オリンピックがあります。これをきっかけに幼児期から文武両道といいますが、両方が揃って一人前の子どもに育っていくと思えます。原点は幼児期と思えますので考えて頂きたい。

**答 教育長** 教育の一番基本は知・徳・体、これはビジョンの原点ですから十分考えていきたいと思います。





松森京子 議員

**問** 心豊かな子どもたちに宝物になる読書カード・手帳の導入を推進して考えたい  
**答** 図書館の魅力づくりの1つとして考えたい

**問** H24年9月議会の一般質問でHUGの導入について質問をした。それに対し当局の答弁は「避難所で起こり得るさまざまな出来事を模擬体験し、あらかじめみんなが対応を考えておくことは大変有意義なものである。避難所の区分けを整理した後、自主防災組織連絡協議会、役員などでこのゲームを紹介し協議して参りたい。」とのこと答弁でした。どのような協議をされ、その反応はどうだったか。

**答 町長** 有意義なものであると思う。昨年6月に地域防災計画を改定した。避難所運営は男女双方で避難者による自治組織を運営していく考えだ。その他、高齢者・妊産婦等さまざまな人が集まり生活をするため、円滑な運営については細心の注意を払わなければならない。防災計画改定と合わせて避難所開設運営マニュアルを策定し、これまでは発災から避難所までの避難を訓練してきたが、その

対策を自主防災組織の方と協議をしてきた。避難所運営については次の課題としてマニュアルの検証を進める。HUGについては今後の地区の防災計画、防災活動に取り入れてもらうよう自主防災組織連絡協議会で紹介をしていく予定にしている。

**問** まだHUGの紹介はされていないのか伺う。

**答 総務課長** 25年度は主に防災訓練が議題になった。ここで避難所の指定も一応一段落した。次のステップを今内部でしている。

**問** 岡山は災害が少ない町というイメージがあるが、3月14日深夜に震度4の地震があった。もしあの時間、もっと大きく揺れ、家の中では危険となれば、避難所に駆け込み、誰彼なく場所取りをされる。そんな中でも避難所の運営は自治会役員、地域住民が主体となつてあらゆる状況にも対応しなければならぬ。混乱は続きません。事前にHUGを模擬体験する

ことよって、いざという時の迅速な対応を学び、地域のコミュニケーションを深めていく大きな役割があることを説明し24年度に質問をした。混乱を招かないもつといい方法があれば教えていただきたい。

**答 総務課長** 避難所運営については万が一の時はそこが拠点になるので、それに向けて避難所の自主運営の大きな要因にやっぱりHUGのようなそういうコンテンツが必要である。もう一回原点に戻って検討したい。

**問** 防災士は資格試験に合格し救命講座を受講。防災士の位置づけと役割について問う。

**答 町長** 地域防災計画で、町は地域防災の核となる自主防災組織リーダーの育成強化を図ることにし、推進した。

**答 総務課長** 防災士は、自主防災組織、自治会を通して推薦されている。自主防災組織の会議なども出席され、当初の目的に沿って活動されている。

**問** 現在早島町が取り組んでいる介護予防事業、そして今後の対策を伺う。

**答 町長** 現在は、要介護認定状態となる恐れのある人を早期発見

し理学療法士による教室、講座など開催。元気な高齢者の方には運動指導、体操教室、サロン活動、お口の健康教室などを開催してきた。今後の取り組みは地域包括ケアシステム（介護が必要になった高齢者も住み慣れた自宅や地域で暮し続けられるように、医師、介護、予防、生活支援、住まいのサービスを切れ目なく一体的に受けられる支援体制）の構築を目指す。来年度には早島町高齢者保健福祉計画、そして第6期介護保険事業計画を策定する。

**問** 家庭における読書は基礎であり、それをサポートする公共図書館の児童サービスはとても重要な役目です。子どもたちの豊かな心を育む上で重要なのが読書に親しむことです。いづどんな本を読んでもどんな感想を抱いたのか記録が残せて宝物となるような読書カード、手帳の導入を推進する。

**答 教育長** 子どもの人格形成に大きな役割を果たす。本町もいろいろ取り組んでいる。

**答 生涯学習課長** 図書館の魅力づくりの一つとして考えたい。今よりもっと気軽に利用してもらえよう、オープンスタディスペースを設ける。



# 新入生のお父さん、お母さんに聞きました。 「町にこんな教育を期待します!」

初めての集団生活を送るにあたり、遊びの中から、人間関係や、優しい心を学んでほしいと思います。元気に楽しく毎日の幼稚園生活を送ってほしいです。



長津 小畑 鼓さん  
(娘 希綾さんが早島幼稚園に入園)

「保幼小中一貫教育」が行われていますが、内容の説明が保護者に対し少ないように思います。

子ども達に、どのような一貫教育が行われ、どのように役立っているか、具体的に保護者全員が理解する場を設けてほしいです。



備南台 藤田 和俊さん  
(娘 桜さんが早島小学校に入学)



ニュー早島 浅尾 恭子さん  
(息子 宥吾くんが早島中学校に入学)

学校施設のハード面はかなり充実してきたので、ソフト面での強化を望みます。現場の最前線で活躍されている先生方と町が協力して、早島っ子の学力が向上し、将来有望な人材がたくさん育成されることを期待しています。



長津 浅沼 由香さん  
(娘 志保さんが早島小学校に入学)

学校・家庭・地域が連携して豊かな心に育てる教育を期待します。心身ともに大きく成長する6年間、色々なことに学んで強く、優しい子になってほしいと思います。

二学期制から三学期制に変わること、節目での学習の見直しやすくなることに期待しています。小学校のHPですが、よく載っている学年や組が限られているような…。色々な組ごとの活動がわかるようになれば(先生方の負担のない程度で)見る楽しみが増えると思います。

(写真は息子大地くん)



下前湯 重谷 真由美さん  
(息子 大地くんが早島小学校に入学)

保・幼、小、中一貫教育の流れを具体的に知りたいです。その中で、子ども達にどのような効果が現れていくのかを、期待しています。

もっとたくさんの体験学習をふやしてほしいです。(体験して学べる場)

長期休業中にオープンスクールデー(自由登校日)を設けてほしいです。

(写真は息子4兄弟)



宮崎 田辺 のり子さん  
(息子 真弥くんが早島中学校に入学)  
(息子 和弥くんが早島小学校に入学)

## ◆編集後記◆

桜もあつという間に咲き誇ったかと思うと、散っていき、空は青々と輝きをまし、木々の緑はどんどん色濃くなってきています。皆様がいかがお過ごしでしょうか。

新学期がスタートし、早島の子も達も元気よく登校している様子が町のあちこちで見ることが出来ます。さて3月議会において、新年度予算が審議され可決されました。地方には未だ景気回復の実感乏しく、住民生活が大変な中での新年度予算となりました。

議会では、町民一人ひとりが大切にされ、快適な住環境を作りつつ、町の永続的な発展をどのように確保すべきか、活発な議論が交わされました。

早島町議会は町民皆様の身近で信頼され、町民と共にすすむ活発な議会を目指しています。

ぜひお声をお寄せください。お願いします。

議会広報編集委員